

馬公 巨白雲、朝潮

旅順 巨雲雀、鷺、鶴、白銀丸

青島 巨水七二、水七五、水七四、水七三

揚子江口 秋津洲

上海 隅田、伏見、鳥羽

新嘉坡 須磨

彼南 須磨

南洋群島 淀、南開丸

航海中

安心丸(十一日「トラック」發神戸へ)

以智丸(十七日門司發「サイバン」へ)

第八多聞丸(十八日橫須賀發)

對馬(十八日彼南發「ダイアモンド」角へ)

巨響、神風、如月、初霜(十九日馬公發「サンダカン」へ)

關東(十九日橫須賀發)

青島(二十日打狗發佐世保へ)

巨明石、巨梅、楠、桂、楓、巨松、柳、杉、柏(二十日古倫母發照丁へ)

巨麗、曙(二十一日大湊發橫須賀へ)

新高(二十一日新嘉坡發彼南沖へ)

千歲(二十一日青島發馬公へ)

利根(二十一日馬公發新嘉坡へ)

巨號摩、平戶(二十一日佐世保發馬公へ)

巨春日、巨春風、時雨、初春、初雪、巨朝風、潮、子日

若葉、巨水無月、卯月、長月、菊月(二十二日吳發長洲へ)

巨彌生、有明、吹雪(二十二日橫須賀發根岸灣へ)

巨浦風、山風、海風(二十二日橫須賀發館山へ)

千代田(二十二日旅順發大連へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第三水雷戰隊司令部、春日、第五驅逐隊、第六驅逐隊、第七驅逐隊宛

三月二十六日迄ニ到着見込ノモノハ

其ノ後ハ 豊前長洲 佐世保

(秘 外 部)

海軍公報

第三百六十八號

海軍大臣官房

大正六年三月二十三日(金)

通牒

經購調第八六號

大正六年三月二十三日

海軍省 艦政局
海軍省 經理局

各艦船 御中
各關係處

石炭年度契約ノ件

大正六年度中香港、新加坡、シンガポールの艦船用
石炭供給ニ關シ左ノ通契約候條御了知相成度
右通知ス

追テ一時ニ多量ヲ要スル場合ハ各地會社支店ニ豫告
相成候致度

契約書

海軍省經理局長志佐勝(以下甲ト稱ス)ハ大正六年四月
一日ヨリ大正七年三月三十一日迄香港ニ於テ帝國海軍
艦船ニ石炭供給ニ關シ三菱會社會社事務總理事江口定徳
(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ
第一條 乙ノ供給スル石炭ノ品種代價左ノ如シ
第二條 乙ノ供給スル石炭ノ品種代價左ノ如シ

艦船舷側渡壹噸ニ付 金貳拾五圓也
麻袋詰ハ壹噸ニ付 金四圓貳拾錢増

第二條 乙ハ石炭供給ニ必要ナル設備ヲ爲シ置キ艦船
ヨリ要求アリタルトキハ隨時其ノ指定スル期日ニ於
テ該艦船ニ所要數量ヲ供給スルモノトス

第三條 乙ノ供給スル石炭ハ艦長ノ命スル検査官ノ
検査ヲ經テ合格シタルモノニ限ル不合格ノ場合ニ於
テハ更ニ正當代品ヲ指定期日迄ニ供給スルヘシ又受領
後ト雖品質著シク粗悪ニシテ艦船ニ於テ使用ニ適セ
ズト認メタルトキハ代品納入若ハ相當代價ヲ辨償セ
シムルコトアルハシ

第四條 一般休暇日及自没後ニ於テ本品ノ授受ヲ爲シ
タル場合ハ甲ノ相當ト認ムル炭價ノ割増ヲナスコト
アルハシ

第五條 乙ハ艦船ノ指定期日ニ遅レ石炭ヲ持込ミ受領
セラレタルトキハ遅延日數一日ニ付其ノ指定數量代
價ノ千分ノ一ニ相當スル違約金ヲ納付スルモノトス

第六條 甲ハ都合ニ依リ本契約期限内ト雖隨時無償ニ
テ解約スルコトアルハシ此場合ニ於テ乙ハ何等ノ異
議ヲ申立ツルコトヲ得ス
第七條 乙ハ甲ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ本契約ヨリ生

海軍公報第三百六十八號 大正六年三月二十三日

一六三

1659

スル價權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ス

第八條 本品代價ハ供給ノ都度代金請求書受理後十五

日以内ニ海軍省經理局ニ於テ仕拂フモノトス

但請求書ニハ當該艦船ノ證明アル勘定書ヲ添付スヘ

第九條 前各條ノ外ハ明治二十九年三月海軍省告示第

三號物品購買規則ニ據ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作り各自署名捺印シテ各

其ノ一通ヲ保有ス

大正六年三月十三日

海軍省經理局長 志佐 勝

東京市麹町區八重洲町二丁目一番地

三菱合資會社營業 江口 定條

第二種和炭規格

(甲號)

石炭每一「キロ」	クリンカー	灰及クレン	炭
含有	灰	炭	灰
百分比	百分比	百分比	百分比
四、五以下	三十五度乃至	四十五度乃至	三〇以下
沸騰水蒸	沸騰水蒸	針金製ハ分目	針金製ハ分目
八〇キロ以上	四、五以下	三〇以下	三〇以下

備考 一、本規格ハ試焚ニ適用スヘキモノトス

二、試焚炭量ハ五百キロ以上トシ自然通風

ニテ試験ヲ行フ

(乙號)

固 定 炭 灰 水分 硫 黃 百分

五〇以上 八〇以下 三、五以下 二〇以下

備考 本規格ハ分析ニ適用スヘキモノニシテ規格甲

號ニ依リ難キ場合ニ限り本規格ニ依ルヘシ

契約書

海軍省經理局長志佐勝(以下甲ト稱ス)ハ大正六年四月

一日ヨリ大正七年三月三十一日迄別紙記載ノ箇所ニ於

テ帝國海軍軍艦ニ石炭供給ニ關シ三井物産株式會社代

表取締役社長三井源右衛門(以下乙ト稱ス)ト契約スル

コト左ノ如シ

第一條 乙ノ供給スヘキ石炭ノ品種及代價ハ別紙ノ通

第二條 乙ハ石炭供給ニ必要ナル設備ヲ爲シ置キ艦船

ヨリ要求アリタルトキハ隨時其ノ指定スル期日ニ於

テ該艦船ニ所要數量ヲ供給スルモノトス

第三條 乙ノ供給スヘキ石炭ハ艦長ノ命スル検査官ノ

検査ヲ經テ合格シタルモノニ限ル不合格ノ場合ニ於

テハ更ニ正當代價ヲ指定期日迄ニ供給スヘシ又受領

後ト推品質著シク粗悪ニシテ艦船ニ於テ使用ニ適セ

スト認メタルトキハ代價納入若ハ相當代價ヲ辨償セ

シムルコトアルヘシ

第四條 一般休暇日及日没後ニ於テ本品ノ授受ヲ爲シ

タル場合ハ甲ノ和當ト認ムル炭價ヲ割増ラズコト

アルヘシ

第五條 乙ハ艦船ノ指定期日并運レ石炭ヲ持込シ愛領
セラレタルトキハ運延日數一日ニ付其ノ指定數量代
價ノ千分ノ一ニ相當スル運約金ヲ納付スルモノトス
第六條 甲ハ都合ニ依リ本契約期間内ト雖隨時一ヶ月
以前ニ豫告シ無償ニテ解約スルコトアルヘシ此場合
ニ於テ乙ハ何等ノ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス
第七條 乙ハ甲ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ本契約ヨリ生
スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ス
第八條 本品代價ハ供給ノ都度代金請求書受理後十五
日以内ニ海軍省經理局ニ於テ仕拂フモノトス
但請求書ニハ當該艦船ノ證明アル勘定書ヲ添付スヘ
シ
第九條 前各條ノ外ハ明治二十九年三月海軍省告示第
三號物品購買規則ニ據ルモノトス
右契約ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作リ各自署名捺印シテ各
其ノ一通ヲ保有ス
大正六年三月十三日

海軍省經理局長 志佐 勝
東京市日本橋區駿河町一番地
三井物産株式會社
代表取締役社長 三井源右衛門

明細表

納入場所	炭 種	噸噸價格	噸噸附増
新嘉坡棧橋橋存修備炭	小二種和炭	三五〇〇〇	三〇〇〇
	田川四尺塊炭	三五〇〇〇	三〇〇〇

海軍公報第千三百六十八號 大正六年三月二十三日

全	沖積全	全	上	三六三〇〇	三	〇〇〇
サンダカン	乾側炭	シリボン炭		九八五〇	四	〇〇〇
全	甲板炭	全	上	一〇〇〇〇〇	四	〇〇〇

備考 シリンボン炭ハ「サンダカン」ニ於ケル普通炭
（市場ニ於テ得ラルル上等ノモノ）ヲ納入スル
コト
第一種和炭規格（前記三條契約ノ分ニ同シ）

○ 辭 令

森山 繁忠
臨時南洋群島防備隊探礦所醫務ヲ囑託ス
但報酬月額百貳拾圓ヲ贈與シ部内限り奏任待遇トス
（海軍省）

○ 艦 船 所 在

○三月二十三日午前十時調
横須賀 山雲、警手、日進、八雲、常磐、河内、
生駒、若宮、吾妻、日彌生、有明、吹雪、叢、滿州、
周防、筑波、津輕、音羽、橋立、千早、朝日、
山城、武蔵、松江、白露、夕暮、夕立、三日月、
不知火、陽炎、霞雲、夕霧、樺、桐、櫻、橘、
磯風、薄雲、山彥、巨雄、鷗、鴻、白鷺、勝利、

(秘 外 部)

海軍公報

第千三百六十九號

大正六年三月二十四日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房第七二八號ノ二

佐世保海軍工廠附屬

機働艇 公稱第二一五號

右其ノ附屬ヲ解ク

佐世保海軍港務部保管

機働艇 公稱第二八九號

右佐世保海軍工廠附屬トス

大正六年三月二十四日

海軍大臣 加藤友三郎

○通 牒

艦政需第八二號

大正六年三月二十四日

海軍省艦政局長 中野 直枝

各所屬長官殿
各關係廳長殿

潜水艇燃料油ノ件

潜水艇行動豫算中燃料油ニ對スル豫算ハ大正六年四月

海軍公報第千三百六十九號

大正六年三月二十四日

一六七

以降數量(立)ヲ以テ配附可相成候
右通知ス

艦政需第八三號

大正六年三月二十四日

海軍省艦政局長 中野 直枝

各所管長官殿
各所屬長官殿

新造艦艇高速航續力並運動力試驗ノ際
搭載スル燃料ノ件

新造艦艇高速航續力並運動力試驗ノ爲搭載スル燃料中
試驗全部終了迄ニ實際使用シタル行動用炭ノ外ハ艦營
需品トシ行動豫算又ハ平常豫算ヲ以テ受込マシムル儀
ト御承知相成度
右申進ス

○艦 船 所 在

△印ハハカレン
指定ヲ要セス

○三月二十四日午前十時調

横須賀、ト山雲、磐手、日進、ト八雲、常磐、河内、
生駒、若宮、ト吾妻、ト彌生、有明、吹雪、霞、滿州、

周防△筑波△津輕△音羽△橋立△子早△朝日、
 武藏△松江、△白鷺、夕暮、夕立、三日月、
 △不知火△陽炎△巖雲△夕霧△巨樺△桐△櫻△橘、
 磯風△薄雲△山彦△巨雉△鷗△鴻△白鷹△勝力△
 栗橋丸△長浦丸△
 山△△浦風△山風△海風

鳥 羽△山城
 吳 △扶桑△安藝△薩摩△攝津△駿馬△伊吹、
 淺間△富士△石見△大和△嚴島△疾風△追風△
 夕風△天津風△韓崎△駒橋△△潛一六△潛八△
 潛九△△潛一△△潛一〇△潛一一△△潛一二△△潛一三△△潛一四△
 潛一五△△潛一六△△潛一七△△潛一八△△潛一九△△潛二〇△△潛二一△△潛二二△△潛二三△△潛二四△
 潛二五△△潛二六△△潛二七△△潛二八△△潛二九△△潛三〇△△潛三一△△潛三二△△潛三三△△潛三四△△潛三五△△潛三六△△潛三七△△潛三八△△潛三九△△潛四〇△△潛四一△△潛四二△△潛四三△△潛四四△△潛四五△△潛四六△△潛四七△△潛四八△△潛四九△△潛五〇△△潛五一△△潛五二△△潛五三△△潛五四△△潛五五△△潛五六△△潛五七△△潛五八△△潛五九△△潛六〇△△潛六一△△潛六二△△潛六三△△潛六四△△潛六五△△潛六六△△潛六七△△潛六八△△潛六九△△潛七〇△△潛七一△△潛七二△△潛七三△△潛七四△△潛七五△△潛七六△△潛七七△△潛七八△△潛七九△△潛八〇△△潛八一△△潛八二△△潛八三△△潛八四△△潛八五△△潛八六△△潛八七△△潛八八△△潛八九△△潛九〇△△潛九一△△潛九二△△潛九三△△潛九四△△潛九五△△潛九六△△潛九七△△潛九八△△潛九九△△潛一〇〇△△

神 戶△關東
 西 保△比叡△最上△宇治△沖島△野分△松風、
 佐 世△白雲△桃△柳△燕△雁△蒼鷹△猿橋丸
 大 崎△日向△濱風
 長 崎△深崎
 牛 島△寺島水道△檜名△金剛△霧島
 舞 鶴△鹿島△香取△阿蘇△見島△檜△樺△真鶴
 千 鳥△鶴△隼△海龍丸
 川 志自岐

鎮 海△口敷島△肥前△三笠△朝霧△村雨
 馬 公△白雲△朝潮
 旅 順△雲雀△鷲△鴉△白銀丸
 長 山△千代田
 青 島△水七二△水七五△水七四△水七三△
 上 海△隅田△伏見△鳥羽
 新 嘉 坡△須磨
 彼 南△矢矧△對馬
 サ ン タ カ ン△響△神風△如月△初霜
 南 洋 群 島△澁南開丸
 航 海 中△
 以智丸(十七日門司發、サイパン)△
 青島(三十日打狗發、佐世保)△
 明石(△梅△楠△桂△楓△松△柳△杉△柏)二十日古倫母
 發亞丁(△)
 第八多聞丸(二十一日二見發、サイパン)△
 龍崎(二十一日大湊發、橫須賀)△
 新高(二十一日新嘉坡發、彼南沖)△
 千歲(二十一日青島發、馬公)△
 利根(二十一日馬公發、新嘉坡)△
 筑摩(平戶)二十一日佐世保發、馬公(△)
 春日、△春風、時雨、初春、初雪、△朝風、潮、守日、
 菫葉、△水無月、卯月、長月、菊月(二十二日吳發、長洲
 △)

秋津洲(二十二日揚子江口發馬公へ)
 勞山(二十三日吳發佐世保へ)
 高崎(二十三日西戶崎發吳へ)

○雜 狀

○郵便物發送先

運送船勢山宛
 三月二十九日迄到著見込ノモハ
 四月 五日同 佐世保
 四月 十四日同 馬公
 四月 十八日同 旗
 四月 二十二日同 鎮海
 四月 二十三日同 佐世保
 四月 二十七日同 鎮海
 四月 三十日同 鎮海
 五月 五日同 鎮海
 五月 十日同 鎮海
 其ノ後ハ

運送船志自岐宛
 營分ノ間
 新 瀧

海軍公報第千三百六十九號 大正六年三月二十四日

(秘 外 部)

海軍公報

第千三百七十號

海軍大臣官房

大正六年三月二十六日(月)

○通牒

廢止

官房第九一四號
第四戰隊司令部及軍艦洗摩、平戸ト内地郵便局間ニ郵便物閉巻交換開始相成候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成度

大正六年三月二十六日

海軍省副官 大角 岑生

記

- 一、信書肩書ハ「門司郵便局氣付」トスルコト
- 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト
- 一、料金ハ内地ノ料金を依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

艦政需第八四號

大正六年三月二十六日

海軍省艦政局長 中野 直枝

各工廠長
關係各屬長 殿

艦政需品主管別豫算其ノ他ニ關スル件

海軍公報第千三百七十號 大正六年三月二十六日

大正六年度主管別豫算及本年官房第一四五號ノ二主管別豫算増減手續並同官房第七二五號第二種煉炭規格等ニ關シ左ノ件御承知相成度

右通知ス

- 一、主管別豫算ニ就テ
大正六年度主管別豫算ハ大正五年度ノモノニ比シ多少増減ヲ生シタル向有之モ右ハ過去數年ノ間主トシテ前年度ノモノヲ標準トシテ告達セラレ其ノ間各部定數ノ變更等モ不尠リシ爲今同總テ各主管定額表ノ定數ヲ基礎トシ精査ヲ遂ケシメラレタル結果ニ有之畢竟本告達ニ依リ始メテ各部主管別豫算配賦ノ割合ニ均衡ヲ得タル次第ニ候尙海兵團及軍艦富士等ノ主管別豫算中ニハ教育ニ要スル相當經費ヲモ認メラレ居リ候
- 二、主管別豫算ノ増減ニ就テ
從來海軍工廠長ニ於テ主管別豫算増減ノ必要ヲ認メタルトキハ所管長官ヲ經テ海軍大臣ニ具申スルコトニ相成居リタルモ右ハ實際ニ於ケル工廠ノ檢査等ニ依リ直チニ之ヲ決定スルコトノ簡單ニシテ且ツ其當ヲ得ハキヲ認メラレ今般差當リ官房第一四五號ノ二ノ如ク令達セラレタル義ニ有之其ノ他

1666

ニ於テ何等變更セラレタルコト無之候又主管別豫算豫備額ハ年度初頭ニ於テ所管各部ノ割合ニ應シ當該全會計年度ニ要スル分ヲ告達相成コトニ定メラレ候

三、第二種煉炭ニ就テ

本年官房第七五號ニ據リ製造セララルヘキ海軍製第二種煉炭ハ現在及將來ニ於ケル燃料ノ配附並準備等ノ必要ニ鑑ミ差當リ現ニ供用中ノ第二種煉炭ニ比シ實用上ノ成績ヲ劣ラシメサル範圍ニ於テ其ノ製造價格ヲ低廉ナラシメンカ爲主要原料並其ノ配合率ヲ變更セラレタルモノニシテ之カ爲新規格中灰及「クリンカー」ノ總量ハ假リニ從來製造ノ第二種煉炭試焚成績ヲ標準トシテ其ノ程度ヲ定メラレタルモノ「クリンカー」ノ量ニ至ツテハ寧ロ若干ノ減少ヲ期セラレタルヲ以テ之ヲ最近製造ノ成績ニ徴スルモ實用上ノ成果ニ於テハ從來供用中ノ第二種海軍製煉炭ニ比較シ毫モ劣ル所無之モノニ候尙天草煉炭ニ就テモ前記ノ主意ヲ以テ多少規格ヲ改メラレ候

海軍製新煉炭試驗成績左ノ如シ

石炭每一千斤ニテ蒸發水量ニテ	クリンカー灰及クリンカー總量	揮發分	灰
ニ於テ	百分比	百分比	百分比
九〇八	一一三〇	一三三七	二二一一
			一五六六

(參照)

海軍製第二種煉炭最近一箇年間(自大正四年十月)試驗成績平均ハ左ノ如シ

石炭每一千斤ニテ蒸發水量ニテ	クリンカー灰及クリンカー總量	揮發分	灰
ニ於テ	百分比	百分比	百分比
九〇〇	五七五	一八〇四	一六八〇
			〇八六

○艦船所在

相定ヲ要セズ

○三月二十六日午前十時調

【横須賀】▷山雲、磐手、日進、ト八雲、常磐、河内、生駒、若宮、ト吾妻、ト彌生、有明、吹雪、霞、瀨州、筑波、音羽、橋立、千早、朝日、武蔵、松江、夕霧、ト浦風、山風、海風、ト樺、桐、櫻、橘、磯風、薄雲、山彦、ト雄、鷗、鴻、白鷹、勝力、栗橋丸、長浦丸

【鳥清】津輕

【水】山城

【鳥】羽

【吳】攝津、鞍馬、伊吹、石見、大和、嚴島、疾風、追風、夕風、天津風、ト韓崎、駒橋、

【潜】潜八、潜九、ト潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、潜一三、潜一、潜二、潜一五、ト水七〇、水六七、

水六八、水七一、膠州、椅子山丸、硯海丸、
 歷山丸、板橋丸
 宮 島 富士
 神 戶 伊勢、時津風、鹿兒島丸
 西 戸 關東
 長 洲 春日、春風、時雨、初春、初雪、朝風、
 潮、子日、若葉、水無月、卯月、長月、菊月
 佐 世 保 口榛名、金剛、霧島、比叡、最上、宇治、
 嵯峨、沖島、野分、松風、白雪、朝霧、村雨、
 桃、柳、雁、蒼鷹、勞山、青島、猿橋丸
 大 村 磯波、浦波、綾波
 長 崎 日向、濱風
 舞 鶴 阿蘇、見島、檜、樫、真鶴、千鳥、鶴、
 隼、淀橋丸
 船 川 志自岐
 鐵 海 口敷島、肥前、三笠
 馬 公 筑摩、平戸、秋津洲、千歳、白雲、朝潮
 旅 順 千代田、雲雀、鷗、朝、白銀丸
 青 島 水七二、水七五、水七四、水七三
 上 海 陽田、伏見、鳥羽
 新嘉坡 須磨
 サンタカン 口響、神風、如月、初霜
 南洋群島 淀、南開丸

航海中
 以智丸(十七日門司發、サイパン)
 明石、梅、楠、桂、楓、松、柳、杉、柏(二十日古倫母
 發亞丁)
 第八多聞丸(二十一日二見發、サイパン)
 口隴、曙(二十一日大湊發、橫須賀)
 新高(二十一日新嘉坡發、彼南沖)
 利根(二十一日馬公發、新嘉坡)
 口扶桑、安藝、薩摩(二十五日吳發、寺島水道)
 鹿島、香取(二十五日舞鶴發、寺島水道)
 對馬(二十五日彼南發、古倫母)
 矢矧(二十五日彼南發、新嘉坡)
 淺間(二十六日吳發、廣島灣)
 高崎(二十六日吳發、神戶)
 口潛一、潛一〇、潛一二、口潛一六、潛一七(二十六日
 吳發、宮島)
 周防(二十六日橫須賀發、館山)
 夕暮(二十六日橫須賀發、館山)

○雜款
 運送船鹿兒島丸第十八回行動豫定
 地名 著 發
 神 戶 四月 五日 四月 三日
 橫 須 賀 四月 五日 七日

海軍公報第千三百七十號 大正六年三月二十六日

一七三

パ
ラ
オ
十五
日
十六
日
横
須
賀
二十
八日
三十
日
横
須
賀
五月
八日
五月
八日

○郵便物發送先

第三艦隊司令部、敷島、肥前、三笠宛

四月一日迄ニ到着見込ノモノハ 鎮海

第三艦隊司令部、敷島、肥前、三笠、第三水雷戦隊司令部、春日、第五、第六、第七驅逐隊宛

四月 八日迄ニ到着見込ノモノハ 佐世保

四月二十三日同 馬公

四月二十八日同 基隆

其ノ後ハ 佐世保

驅逐艦濱風宛

三月二十八日迄ニ到着見込ノモノハ 長崎

同 三十一日同 佐世保

其ノ後ハ 横須賀

軍艦鹿島、香取宛

本日以後 佐世保

軍艦周防宛

三月三十一日迄ニ到着見込ノモノハ 館山

其ノ後ハ 横須賀

軍艦生駒宛

三月二十八日同、三月三十一日迄ニ到着見込ノモノハ

其ノ後ハ

館山
横須賀

(秘 外 部)

海軍公報第千三百七十號附錄

懲罰言渡書

大正六年三月二十六日(月)

海軍大臣官房

海軍公報第千三百七十號附錄

1670

(秘 外 部)

海軍公報

第三百七十一號

海軍大臣官房

大正六年三月二十七日(火)

○通 牒

官房機密第五二九號

大正六年三月二十七日

海軍次官 鈴木貫太郎

脊廳長殿

從軍年加算ニ關スル件

軍艦利根、筑摩、平戸ハ大正三年十一月十日陸海軍省告示第二項後段ニ依リ本年三月十九日以後各任地ニ向ヒ最終ニ内地港灣出發ノ日ヨリ起算シ從軍年ヲ加算セラ
ルモノトシ御取扱相成度
右通知ス

○艦船所在

印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○三月二十七日午前十時調

【横須賀】▷出雲、磐手、日進、八雲、常磐、河内、生駒、巨彌生、有明、吹雪、霞、滿州、筑波、音羽、橋立、千早、朝日、武藏、松江、巨白鷺、夕立、三月月、巨不知火、陽炎、叢雲、夕霧、巨樺、桐、櫻、橘、磯風、山彦、巨雄、鷗、鴻、白鷹、勝利、

栗橋丸、長浦丸

【山】 周防、若宮、夕暮、海雲

【金田】 巨浦風、海風、山風

【清】 津輕

【鳥羽】 山城

【吳】 攝津、鞍馬、伊吹、淺間、石見、大和、嚴島、巨疾風、追風、夕風、天津風、巨韓崎、駒橋、

巨八、巨九、巨三、巨四、巨五、巨六、巨七、

巨一、巨二、巨一五、巨七〇、巨六七、

巨六八、巨七一、膠州、椅子山丸、硯海丸、

歷山丸、板橋丸

【宮】 富士、巨潜一、巨潜二、巨潜一六

【神戶】 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

【西戶崎】 關東

【長洲】 ▷春日、巨春風、時雨、初春、初雪、巨朝風、

朝、子日、若葉、巨水無月、卯月、長月、菊月

【佐世保】 巨榛名、金剛、霧島、比叡、宇治、嵯峨、

沖島、巨野分、松風、白雲、桃、柳、巨燕、雁、

蒼鷹、勞山、青島、猿橋丸

【大村】 巨磯波、浦波、綾波

【長崎】 日向、濱風

海軍公報第三百七十一號

大正六年三月二十七日

一七五

1671

【米ノ津】 最上

【舞鶴】 阿蘇、見島、檜、檜、巨真鶴、千鳥、鷗、準、淀橋丸

【船】 志自岐

【鏡】 口敷島、肥前、三笠

【馬】 口筑摩、平戸、秋津洲、千歳、口白雲、朝潮

【旅】 千代田、口雲雀、鷺、鷗、白銀丸

【青島】 口水七二、水七五、水七四、水七三

【上海】 隅田、伏見、鳥羽

【南洋群島】 淀、南開丸、以智丸

【航海中】

▷明石、口梅、楠、桂、楓、口松、柳、杉、柏(二十日古倫母

發亞丁へ)

第八多開丸(二十一日二見發、サイパンへ)

口瀧、曙(二十一日大湊發横須賀へ)

新高(二十一日新嘉坡發彼南沖へ)

利根(二十一日馬公發新嘉坡へ)

口扶桑、安藝、薩摩(二十五日吳發寺島水道へ)

鹿島、香取(二十五日舞鶴發寺島水道へ)

對馬(二十五日彼南發古倫母へ)

▷矢矧(二十五日彼南發新嘉坡へ)

須磨(二十六日新嘉坡發、ダイアモンド角へ)

口響、神風、如月、初霜(二十六日、サンダカン)發新嘉坡へ)

▷吾妻(二十六日横須賀發羽田沖へ)
口朝霧、村雨(二十七日佐世保發嚴原へ)
潛一七(二十七日宮島發吳へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

藤井特命檢閱使一行宛郵便物ハ來ル四月二日以降左記

ニ依リ發送相成度

四月 十四日迄ニ到著見込ノモノハ

吳軍港 軍艦滿州

四月 十五日同 徳山 同

四月 二十二日同

馬公港 同

其ノ以後ハ 海軍省氣付

海軍公報

第千三百七十二號

海軍大臣官房

大正六年三月二十八日(水)

○令達

官房機密第一九一號ノ三
本年官房機密第一九一號中利根ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ
出 雲

大正六年三月二十八日

海軍大臣 加藤友三郎

○照 本年官房機密第一九一號ノ海軍戰時給與規則第六條ノ増修支
給ノ件ナリ

(秘 外 部)

廢止

官房機密第五〇號
自今新ニ特務艦隊ニ編入セラルル艦船ハ同隊所在地ニ
到達スル迄ノ間告知豫算外ヲ以テ所要ノ燃料及航海用
消耗品ヲ搭載スルコトヲ得

大正六年三月二十八日

海軍大臣 加藤友三郎

○艦船所在

▲印 ▲ハホフ
指定ヲ要セス

○三月二十八日午前十時調

横須賀 下田雲、鷲手、日進、下常磐、八雲、河内▲

海軍公報第千三百七十二號

大正六年三月二十八日

長 大

宮 富士、潜一六

神 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

西 關東、青島

佐 伊藤、時津風、高崎、鹿兒島丸

保 關東、青島

世 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

保 關東、青島

野 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

分 關東、青島

松 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

白 關東、青島

雪 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

桃 關東、青島

柳 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

雁 關東、青島

鶴 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

磯 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

波 關東、青島

綾 伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

波 關東、青島

日向、濱風

山 周防、若宮、夕暮、薄雲

羽 山城

吳 攝津、鞍馬、伊吹、淺間、石見、大和、嚴島

追風、夕風、天津風、韓崎、駒橋

潜八、潜九、潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、

潜一三、潜一、潜二、潜一七、潜一五、水七〇、

水六七、水六八、水七一、膠州、椅子山丸、

硯海丸、歷山丸、板橋丸

長浦丸

彌生、有明、吹雪、霞、蒲州、筑波、音羽、橋立、

千早、朝日、武藏、松江、白露、夕立、三日月、

不知火、陽炎、叢雲、夕霧、巨樺、桐、櫻、橘、

磯風、山彦、巨雄、鷗、白鷹、勝力、栗橋丸、

【寺島水道】

口扶桑、安藝、薩摩、鹿島、香取

【米ノ津】

最上

【舞鶴】

阿蘇、見島、檜、樫、巨翼鶴、千島、鶴

【船山】

志自岐

【鎮海】

口敷島、肥前、三笠

【馬公】

口筑摩、平戸、秋津洲、千歲、口白雲、朝潮

【旅順】

千代田、口雲雀、鷺、鶴、鶉、白銀丸

【青島】

口水七二、水七五、水七四、水七三

【上海】

隅田、伏見、鳥羽

【新嘉坡】

口矢矧

【古倫母】

新高

【亞丁】

口明石、口梅、楠、桂、楓、口松、榊、杉、柏

【南洋群島】

淀、南開丸、以智丸

【航海中】

第八多聞丸(二十一日二見發「サイパン」へ)
口臈、曙(二十一日大濠發橫須賀へ)
利根(二十一日馬公發新嘉坡へ)
對馬(二十五日彼南發古倫母へ)
須磨(二十六日新嘉坡發「ダイアモンド」角へ)
口響、神風、如月、初霜(二十六日「サンダカン」發新嘉坡へ)
口吾妻(二十六日橫須賀發羽田沖へ)

口春日、口春風、時雨、初春、初雪、口朝風、潮、子日、若葉、口水無月、卯月、長月、菊月(二十七日長洲發佐世保へ)

津輕(二十八日清水發橫須賀へ)

口潜一、潜一〇、潜二(二十八日宮島發吳へ)

口朝霧、村雨(二十八日竹敷發鎮海へ)

口浦風、海風、山風(二十八日金田灣發橫須賀へ)

生駒(二十八日橫須賀發館山へ)

○雜款

○旗艦變更
練習艦隊司令官ハ昨二十七日旗艦ヲ八雲ヨリ常磐ニ變更セリ

海軍公報

第千三百七十三號

海軍大臣官房

大正六年三月二十九日(木)

○令 達

官房第九六九號

大正四年十二月官房第三八二五號中「軍艦利根」ノ次ニ

「軍艦常磐」「軍艦八雲」ヲ加フ

本令ハ大正六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年三月二十九日

海軍大臣 加藤友三郎

参照

大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍費ヲ以テ經費ヲ
支辨スヘキ各部ノ件ナリ

○艦船所在

△印 △ハ △ホ △フ
指定ヲ要セス

○三月二十九日午前十時調

【横須賀】▷常磐、八雲、磐手、日進、河内、△吾妻、

△彌生、有明、吹雪、霞、滿州、筑波、津輕、音羽、

橋立、△千早、朝日、武藏、△松江、△白鷺、夕暮、

夕立、三日月、△臘、曙、△不知火、陽炎、△雷雲、

夕霧、△白樺、桐、櫻、橘、磯風、山彦、△雄、鷗、鴻、

白鷹、勝力、△栗橋丸、長浦丸、△

【館 山】 周防、生駒、潮雲

【鳥 羽】

山城

吳 攝津、鞍馬、伊吹、石見、大和、嚴島、

△疾風、追風、夕風、天津風、△韓崎、駒橋、

潛八、潛九、潛一七、△潛一〇、潛一二、

△潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、△潛一三、

潛一、潛二、潛一五、△水七〇、水六七、水六八、

水七一、膠州、椅子山丸、硯海丸、歷山丸、

板橋丸

【神 戸】

伊勢、時津風、高崎、鹿兒島丸

【西 戸】

關東、青島

【佐 世 保】

△榛名、金剛、霧島、比叡、宇治、沖島、

△春日、△春風、時雨、初春、初雪、△朝風、潮、子日、

若葉、△水無月、卯月、長月、菊月、△野分、松風、

白雪、桃、△柳、勞山、猿橋丸

△大 村 磯波、浦波、綾波

△長 崎 日向、嵯峨、濱風

△寺島水道 扶桑、安藝、薩摩、△鹿島、香取

△舞 鶴 阿蘇、見島、楡、△眞鶴、千鳥、鵠

△鎮 隼、淀橋丸

△海 肥前、三笠、△朝霧、村雨

海軍公報第千三百七十三號 大正六年三月二十九日

一七九

1675

富士、巨潜一六(二十九日宮島發吳)

○雜 欸

○艦變更

第二戰隊司令官ハ昨二十八日旗艦ヲ出雲ヨリ鹿島ニ變更セリ

○郵便物發送先

第二戰隊司令部宛

佐世保軍艦鹿島

軍艦滿州宛

全四 月 二日ヨリ 到著見込ノモノハ

四月 十五日迄同

四月 二十二日同

四月 三十日同

其ノ後ハ

吳 德 馬 宮 吳
山 公 島

航海中

利根(二十一日馬公發新嘉坡へ)

對馬(二十五日彼南發古倫母へ)

須磨(二十六日自新嘉坡發「ダイヤモンド」角へ)

巨響(神風、如月、初霜(二十六日「サンダカン」發新嘉坡へ)

巨浦風、海風、山風(二十八日金田灣發橫須賀へ)

巨筑摩、平戸、千歳(二十八日馬公發香港へ)

巨燕、雁、鶴、蒼鷹(二十八日長崎發港外へ)

田雲(二十八日橫須賀發佐世保へ)

秋津洲(二十八日馬公發打狗へ)

若宮(二十八日館山發)

志自岐(二十八日船川發新潟へ)

最上(二十九日牛深發佐世保へ)

淺間(二十九日吳發廣島灣へ)

馬公 巨白雲、朝潮
 旅順 千代田、白銀丸
 大連 巨雲雀、鷲、鷓、鶉
 青島 巨水七二、水七五、水七四、水七三
 上海 隅田、伏見、鳥羽
 新嘉坡 巨矢矧
 古倫母 新高
 亞丁 巨明石、巨梅、楠、桂、楓、巨松、神、杉、柏
 南洋群島 淀、南開丸、第八多聞丸、以智丸

(秘 外 部)

海軍公報

第一千三百七十四號

海軍大臣官房

大正六年三月三十日(金)

○通 牒

官房機密第五六六號

大正六年三月三十日

海軍次官 鈴木貫太郎

各廳長殿

從軍年加算ニ關スル件

軍艦出雲ハ大正三年十一月十日陸海軍省告示第二項後段ニ依リ本年三月二十八日以後任地ニ向ヒ最終ニ内地港灣出發ノ日ヨリ起算シ從軍年ヲ加算セラルルモノトシ御取扱相成度右通知ス

○艦船所在

▲印ハニハホシノ指定ヲ要セス

○三月三十日午前十時調

【横須賀】▷常磐、八雲、磐手、山城、河内▲▷日進、吾妻、巨彌生、有明、吹雪、霞、瀧州、筑波▲津輕、香羽▲橋立▲、千早、朝日、武藏、松江、巨白鷗、夕暮、夕立、三日月、巨龍、曙、巨不知火▲陽炎▲、叢雲▲夕霧▲巨浦風、海風、山風、巨樺、桐、櫻、

海軍公報第一千三百七十四號

大正六年三月三十日

橋、磯風、漣雲、山彦、巨雄、鷗、鴻、白鷹、勝力▲、栗橋丸、長浦丸▲

【館 山】 周防、生駒、若宮、吳、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、富士、石見、大和、嚴島、巨疾風▲追風▲夕風▲天津風、▷韓崎▲、駒橋▲巨潜一六、潜八▲潜九▲潜一七、巨潜一一、潜一〇、潜一二、巨潜三▲潜四、潜五、潜六、潜七、巨潜一三、潜一、潜二、潜一五、巨水七〇、水六七、水六八、水七一、膠州▲、椅子山丸▲、硯海丸、歷山丸、板橋丸

【神 戶】 伊勢、時津風、鹿兒島丸、關東、青島

【佐 世 保】 巨榛名、金剛、霧島、比叡▲宇治、沖島、▷春日、巨春風、時雨、初春、初雪、巨朝風、潮、子日、若葉、卯月、巨野分、松風、白雪、桃▲濱風、柳、猿橋丸

【大 村】 巨磯波、浦波、綾波

【長 崎】 日向

【寺島水道】 巨扶桑、安藝、薩摩、▷鹿島、香取、鶴、阿蘇、見島▲繪、橙、巨真鶴、千鳥、鷗、隼、淀橋丸

1677

【新】瀨 志自岐
【鎮】海 口敷島、肥前、三笠
【三】千 浦 口朝霧、村雨
【馬】公 口白雲、朝潮
【旅】順 千代田、白銀丸
【大】連 口雲雀、鷺、鶴、鶉
【青】島 口水七二、水七五、水七四、水七三
【香】港 口筑摩、平戸、千歳
【上】海 隅田、伏見、鳥羽
【新】嘉 坡 矢矧、利根
【古】倫 母 新高
【南】洋 群 島 淀、南開丸、第八多聞丸、以智丸

【航海中】

對馬(二十五日彼南發古倫母へ)
須磨(二十六日新嘉坡發「ダイヤモンド」角へ)
口響、神風、如月、初霜(二十六日「サンダカン」發新嘉坡へ)
出雲(二十八日横須賀發佐世保へ)
秋津洲(二十八日馬公發打狗へ)
口明石、口梅、楠、桂、楓、口松、桐、杉、柏(二十九日聖丁發「ポートサイド」へ)
口蒼鷹、雁、鶴(二十九日長崎發港外へ)
勞山(二十九日佐世保發馬公へ)
高崎(二十九日神戸發横須賀へ)

艦峨(三十日長崎發港外へ)
最上(三十日佐世保發港外へ)
口水無月、長月、菊月(三十日佐世保發大村灣へ)

○ 雜 欸

○ 旗艦變更
第二水雷戰隊司令官ハ本月二十九日旗艦ヲ吾妻ヨリ日進ニ變更セリ

○ 司令艇變更
第九艇隊司令ハ本月二十八日司令艇ヲ燕ヨリ蒼鷹ニ變更セリ

○ 郵便物發送先
第二艦隊司令部、榛名、金剛、霧島宛
三月三十一日迄ニ到著見込ノモノハ
四月 八日同 佐世保
四月 十二日同 旅順
四月 十九日同 大連
其ノ後ハ 佐世保
鹿兒島縣 米ノ津
山形郡

軍艦周防宛 本日以後 横須賀留置

○ 千歲航路豫定變更(五年十一月二十一日公報參照)

(秘 外 部)

海軍公報

第千三百七十五號

海軍大臣官房

大正六年三月三十一日(土)

○令 達

官房第一〇〇四號
大正四年十二月官房第三八二五號中「軍艦八雲」ノ次ニ
「軍艦松江」ヲ加シ
本令ハ大正六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正六年三月三十一日
海軍大臣 加藤 友三郎

参照 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍費ヲ以テ經費ヲ
支辨スヘキ各部ノ件ナリ

○艦船所在

△印△ハ△ホ△
指定ヲ要セズ

○三月三十一日午前十時調

横須 賀 △常磐、八雲、磐手、山城、河内、△日進、
吾妻、△彌生、有明、吹雪、叢、滿州、筑波、津輕、
音羽、△橋立、千早、朝日、武蔵、松江、△白鷺、
夕暮、夕立、△三日月、△龍、曙、△不知火、△陽炎、
霧雲、△夕霧、△浦風、海風、山風、△樺、桐、櫻、
橘、磯風、山彦、△雄、△鶴、△白鷹、△勝利、△栗橋丸、
長浦丸

海軍公報第千三百七十五號 大正六年三月三十一日

館 山

周防、生駒、若宮、薄雲、
攝津、鞍馬、伊吹、淺間、富士、石見、大和、
嚴島、△疾風、追風、夕風、天津風、△韓崎、
駒橋、△潛一六、△潛八、△潛九、△潛一七、△潛一、
△潛一〇、△潛一二、△潛三、△潛四、△潛五、△潛六、
△潛七、△潛一三、△潛一、△潛二、△潛一五、△水七〇、
水六七、水六八、膠州、椅子山丸、硯海丸、
歷山丸、板橋丸

神 戸

伊勢、時津風、鹿兒島丸

西 戸

關東、青島

佐 世

口扶桑、安藝、薩摩、△鹿島、香取、△榛名、
金剛、霧島、比叡、最上、嵯峨、宇治、沖島、
△春日、△朝風、潮、子日、若葉、卯月、△野分、松風、
白雲、桃、△濱風、柳、△蒼鷹、燕、雁、△鶴、猿橋丸、
村、△磯波、浦波、綾波、△春風、時雨、初春、初雪、
日向

大 長

阿蘇、見島、檜、△真鶴、千島、鶴、
隼、淀橋丸

舞 鶴

志自岐

新 瀨

口敷島、肥前、三笠

鎮 海

口朝霧、村雨

三 千

浦

【馬】

松白雲、朝潮

【旅】

千代田、巨巖、鷲、鷗、白銀丸

【青】

巨水七二、水七五、水七四、水七三

【香】

▷筑摩、平戶、千歲

【上】

隅田、伏見、鳥羽

【新嘉坡】

▷矢矧、利根、巨響、霹靂、知月、初霜

【古倫母】

新高、對馬

【南洋群島】

淀、南開丸、第八多聞丸、以智丸

【航海中】

須磨(二十六日新嘉坡發)ダイヤモンド(角へ)

由雲(二十八日横須賀發)佐世保へ)

秋津洲(二十八日馬公發)打狗へ)

▷明石、巨梅、楠、桂、楓、巨松、楸、核、楢(二十九日重丁發)ポルトサイドへ)

勢山(二十九日佐世保發)馬公へ)

高崎(二十九日神戸發)横須賀へ)

巨水無月、長月、菊月(三十日佐世保發)大村灣へ)

水七二(三十一日志度發)由良へ)

87
88
89
90